

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友だちと関わりながら好きな遊びを楽しむ。 ・身の回りの物に親しみ、様々なものに興味や関心を持つ。 	行事	<ul style="list-style-type: none"> ・身体計測 ・避難訓練 ・12月29日～1月3日 年末年始休暇 	長時間保育	怪我や誤飲がないよう配慮し、快適な環境の中で、安心して過ごす。	家庭連携	<ul style="list-style-type: none"> ・室内は温かいことを伝え、厚着せず、調節できる服を用意してもらう。 ・保育者や友だちとのやり取りの姿を伝え、成長を喜び合う。 	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの興味に合った絵本を吟味し雰囲気大切に、継続的に読むことで、絵本を好きになってくれた。 ・友だち同士で遊ぶことが増え、関わり方を知らせてきたことで、「ちょうだい」「ありがとう」、しぐさや言葉で表現できるようになってきた。
今月の内容(養護・教育)		環境構成			配慮事項		取り組みの状況と保育士の振り返り		
<ul style="list-style-type: none"> ・感染症に気を付け、元気に遊ぶ。 ・温かい時間帯には外気に触れて、全身を使った遊びを楽しみ、機嫌よく過ごせるようにする。 ・保育者や友だちとの楽しい活動を通して、一緒に遊ぶことの楽しさを味わう。 ・身近な生活用品や、玩具や絵本などが用意された中で、身の回りの物に対する興味関心を持つ。 ・会話を楽しみながら、食具を使って、ゆっくり食事をする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・室内の温度や湿度に注意し、暖房や空気清浄加湿器などを適切に使い、換気を適宜に行う。 ・保育者間で連携を取りながら、戸外で遊ぶ子どもたちに背を向けず見守る。 ・手の届くところに興味を引く玩具や絵本などを置き、自分で出せるようにする。 ・食具が上手に使えるような食器の置き方をする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・冬にかかりやすい病気や感染症の早期発見を心掛け、看護師と連携を図り、一人ひとりの体調に合わせて対応する。 ・戸外に落ちている危険な物は、事前に取り除き、安全に遊べるよう配慮する。 ・友達との仲介をしながらも目を離さず、噛みつきやひっかきを未然に防ぐ。 ・子どもの遊ぶ様子を保育者は温かく応答し、その世界を共有する。 ・食べる意欲を大切にし、一人ひとりの食事の状態に応じて言葉をかけ、楽しく食べられるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・食事前の手洗い、紙芝居、みんなの前に出て発表するなど新しいことを始めたら、意欲的に楽しみながら行っていた。流れに沿い、楽しく進められることを増やしていきたい。 ・積極的に戸外に出て、季節感を味わったり、走ったりして、十分に体を動かして遊ぶことができた。寒さが厳しくなるが、なるべく日差しの中で遊ぶようにしていきたい。 ・注意していたにもかかわらず、噛みつきを防げないことがあった。意識を高く持ち、職員間で声を掛け合い、より一層気を配っていきたい。 ・食事では、子どもの意思を大切にして進め、利き手でない方の手を茶碗に添えるなど、具体的に知らせると、スプーンで上手に食べられる子が多くなってきた。引き続き、自分で食べることの楽しさを知らせていく。 		